注意！！天地左右のマージンが不足すると、原稿の一部がきれるなど印刷に支障をきたします。
天地：各27㎜　左右：各18㎜は必ず確保してください

27mm

和文表題：書体・文字サイズ　MS明朝　12ポイント　太字・左寄せ

自治体の環境保全活動支援事業における参加者の変動傾向と環境変化について

Changes in the Population Level of Participants at the Environmental Conservation Activities

欧文表題：書体・文字サイズ　Century　12ポイント　左寄せ

和文執筆者名：書体・文字サイズ　MS明朝　11ポイント　右寄せ

千代田　春子*・□□□**

欧文執筆者名（姓は全て大文字）：書体・文字サイズ　Century　11ポイント　右寄せ

Haruo CHIYODA and ……..

要旨：全国の都道府県において1985年から2002年にかけて□□

要旨（300字以内）・キーワード（6個以内）：書体・文字サイズ　MS明朝　10ポイント

キーワード：アンケート調査，□□□□□□

Abstract: Population censuses have been conducted □□

Abstract（100～150words）・Key Words（6個以内）：書体・文字サイズ　Century　10ポイント
※キーワードは固有名詞以外　小文字表記

Key Words: questionnaire survey, ……………

見出し：書体・文字サイズ　MS ゴシック　あるいはCentury 太字　10ポイント

はじめに（INTRODUCTION）

近年，環境問題は深刻化しており，その解決に向けた取り組みが，□□□地域の一つとして選ばれている（Stattersfield *et al.*，1998）。□□。

本文　1行25字×表紙頁は最低1段20行とること　書体・文字サイズMS明朝もしくはCentury 10ポイント。句読点は　「，」と「。」を用いること。

本文中の引用文献表記の例

1．研究の方法（METHODS）

□□□を図2に示した。（2）と（3）の時点における・・で確認し（杉村ほか，1995；Sugimura *et al.*，2000），その後は□□□

18mm　18mm

* 一般社団法人環境情報科学センター　事業推進室
**……………

執筆者所属：書体・文字サイズ　MS明朝／Century　8ポイント　※職名は記載しない

本文と執筆者所属の間には罫線（両段どり）を入れる

27mm

図表は天地に割り付け、本文中にははさまない
（キャプション　書体　MS ゴシックあるいはCentury 太字　１０ポイント）
※版下はＢ５版に縮小される。その場合でも十分判読できるものにすること

２．結　果（RESULTS）

見出し：書体・文字サイズ　MS ゴシックあるいはCentury 太字 10 ポイント

２．１　活動の継続に関わる課

本文　1行25字×46行　書体・文字サイズ　MS明朝もしくはCentury 10 ポイント

２．２　活動の効果の検証

本文中の補注表記の例

見出し：書体・文字サイズ　MS ゴシックあるいはCentury 太字 10 ポイント

３．考　察（DISCUSSION）

表１　環境保全活動の・・・

図１　アンケート調査地の地理的位置

おわりに（CONCLUSIONS）

謝辞・補注・引用文献表記
書体・文字サイズ　MS 明朝もしくは Century 8 ポイント（見出しは MS ゴシックもしくはCentury 太字　8ポイント）

謝　辞（ACKNOWLEDGEMENTS）

本研究を遂行するにあたって，・・・・・・

補　注（NOTES）

[1] 神奈川県企画部土地水資源対策課（2004..8.20 更新）神奈川の水源環境を考える．＜http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/mizusigen/＞，2004.6.29 参照

[2] Ministry of the Environment (03/29/2004 updated) MOE PRTR data page.<http://www.prtr-Info.jp/prtrinfo/Index.htm>, 10/25/2004 referred.

インターネット上の情報の引用表記例

各引用文献の記載の順番は、本文内の表記順ではなく、（第一）著者名アルファベット順に並べること（連番は付けない）。
なお、著者名は紙面が許す限り全著者名を省略せずに記載すること。

引用文献（REFERENCES）

（和文）編纂図書あるいは論文集中論文の場合の表記例

石田　健・金井　裕・植田睦之（1995）奄美大島におけるオオトラツグミの生息状況．『平成５年度希少野生動植物生息状況調査』（日本野鳥の会編），pp. 41～59，環境庁，東京.

（英文）編纂図書あるいは論文集中論文の場合の表記例

Nicholas, V., L. Brokaw and R.A. Lent (1999) Vertical structure. In: Hunter, M. L., ed., “Maintaining Biodiversity in Forest Ecosystems”, pp.373 ～ 399, Cambridge University Press, Cambridge, UK.

（和文）単行本の場合の表記

杉村　乾（編著）（2001a）森林の役割評価とその適正配置．林業科学技術振興所，東京，92pp.

杉村　乾（2001b）環境学の立場からみた生物多様性の保全(2)－人間社会との共存を目指して．環境情報科学，30(3)，87～93.

（和文）雑誌中の論文の場合の表記例

（英文）雑誌中の論文の場合の表記例

Sugimura, K., F. Yamada and A. Miyamoto (2003) Population trend, habitat changes and conservation of the unique wildlife species on the Amami Island, Japan. *Global Environmental Research*, No.7, 79～89.

（英文）単行本の場合の表記例

Takacs, D. (1996) The Idea of Biodiversity: Philosophies of Paradise. The Johns Hopkins University Press, Baltimore and London, 393pp.